

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Prostate cancer detection rate and Gleason score in relation to prostate volume as assessed by MRI cognitive biopsy and standard biopsy に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年2月から2018年1月に当院で前立腺生検を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

本研究は学術研究であり、昭和大学泌尿器科に入院中の患者さんのデータを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を使用し、取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

我々はMRI併用経直腸的前立腺生検における、前立腺癌の検出率と悪性度の関係をMRI所見（体積、癌疑い所見の有無）との因果関係を評価することを目的としています。

前立腺癌を検出するために前立腺生検を行います。前立腺生検で癌の悪性度が分かります。前立腺生検では通常12か所を穿刺しますが、前立腺のすべての部分が採取されるわけではないため、不均一に存在する前立腺内部の病理所見が完全にわかる訳ではありません。前立腺のサイズが大きくなると、前立腺がんの検出がより困難になります。前立腺生検の前にMRIを使用し重大な前立腺腫瘍病変を検出します。MRIにより、腫瘍の位置を把握し、その領域で生検を行うことで、腫瘍を見逃すリスクを減らすことができます。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから2020年10月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

以下は、我々の研究において医療記録から収集させていただく情報です。

年齢、前立腺特異抗原 (PSA)、遊離/総 (f / t) PSA、遊離 PSA、前立腺容積、MRI、
前立腺生検の結果 - がんの有無またはグリーソンスコア、
前立腺生検の回数 - 初回または複数回の生検。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部泌尿器科学講座泌尿器科学部門） 氏名：中里 武彦

住所：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8560

研究責任者：

所属：昭和大学病院（医学部泌尿器科学講座泌尿器科学部門） 研究責任者：中里 武彦